

2014年市議会1月特別会議 意見書（案）

意見書（案）第1号 第79回国民体育大会においてびわこ文化公園都市を主会場に決定することを求める意見書

【湖誠、公明、大志、惻隠提案】

滋賀県では、昭和56年の第36回国民体育大会「びわこ国体」以来43年ぶりとなる平成36年の第79回国民体育大会に係る開催要望を表明され、昨年7月に開催された日本体育協会の理事会においては、開催申請書提出順序が承認された。それを受け、昨年10月31日には第79回国民体育大会滋賀県開催準備委員会が立ち上がったところであり、国体開催に向けた準備が本格的に進もうとしているところである。

本市では、前回のびわこ国体で総合開会式をはじめ多くの競技を開催した実績があり、また現在では、「ウォーキングからはじめる元気なまち・大津」をスポーツ振興計画に掲げ、生涯スポーツの振興に全市を挙げて取り組んでいるところである。このことから、第79回国民体育大会の成功を切に願うとともに積極的に貢献しようとするものである。

そのような中、滋賀県においては、昨年11月8日の第1回主会場選定専門委員会で、主会場の候補地として、滋賀県立彦根総合運動場、希望が丘文化公園及びびわこ文化公園都市の3候補地を選定された。

この中で、特にびわこ文化公園都市周辺地域は、隣接する草津市とともに今もなお人口が増加し、県内でも最も人口集積の高い地域である。また、滋賀県内をはじめ近畿圏、中部圏、北陸圏との広域交通アクセスや周辺に位置する大学との連携などにおいてメリットもあることから、今後のスポーツ拠点としても大いに期待できるものである。

よって、滋賀県においては、第79回国民体育大会の開催に最もふさわしい地域として、びわこ文化公園都市を主会場に決定されるよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。